

## 中国システム建築協力会

# 総会開催、会員28社に増

### JFEシビル

【広島】JFEシビルは14日、広島市でJFE中国システム建築協力会の2016年度定期総会を開催、流通、協力施工店など約30人

が出席した。同会には昨年4月からの1年間で中央建設(岡山県倉敷市)、福正建設(広島市)、こおげ建設(鳥取県八頭郡)の3社が新規加入し、会員数は28社となった。

冒頭、同会の片岡精一会長(片岡工業社長)は「会員企業は年々、増えており、今年度は28社になった。中でも地場ゼネコンの新規加

入が増えており、さまざまな面でプラスになるものと期待している。会員の皆さんとともに、工期短縮やコスト削減が可能なシステム建築で民間建築を支援していきたい」とあいさつ。



あいさつする片岡会長

続いて、JFEシビルを代表し、森田昌敏・常務取締役が「システム建築事業部の売り上げは前期(16年3月期)140億円弱だった。今期は180億円、来期は200億円を突破したいと考えている。JFEシビル全体が来期1000億円達成を目指す中で、システム建築事業として、これを支えていきたい。中国地区の大型案件としては、鳥取市で食品工場や商業施設の

建設計画がある。一緒にこうした仕事を手掛けて、地区を盛り上げよう」と呼びかけた。

その後、協力で推進する会員各社がシステム建築の受注を目指す「1社1棟&1件受注活動」の15年度中国地区表彰が行われ、13社に片岡会長から賞状が手渡された。

建設計画がある。一緒にこうした仕事を手掛けて、地区を盛り上げよう」と呼びかけた。